

両国高校をめざす皆さんへ

校長 鯨岡 廣隆

本校は、明治34（1901）年、東京府立第三中学校として創立され、118年目を迎えた歴史と伝統のある、東京都を代表する進学校です。

平成18年度からは都立の中高一貫教育校（附属中学校をもつ併設型）として、両国は新たな歴史を刻み始めております。

長きにわたり、両国高校として培ってきた学習指導、進路指導、生徒指導などは、中高一貫教育校となった現在も引き継がれており、本校は生徒の進路希望、特に難関国公立大学・難関私立大学進学希望を現役で実現しようとする学校です。

これまで約3万名の本校卒業生が国の内外、各界で活躍してきております。

将来は、国際社会において各分野のリーダーとして活躍しようとする高い志（こころざし）をもつ生徒の皆さんの入学を期待します。

平成31年1月・2月実施の入学者決定、入学者選抜は次の通りです。

両国高校附属中学校・・・中学校1年生120名程度（3学級）募集

両国高校・・・・・・・・・・高校1年生80名程度（2クラス）募集

*両国高校1年生は、両国高校附属中学校から進学する3クラスと高校から入学する2クラスとを混合した1学年5クラス編成となります。

高校1年生80名程度募集の高校入学者選抜の主な内容は次の通りです。

1 学力検査に基づく選抜

(1) 国語、数学、英語は「グループ作成問題」（中高一貫教育校で作成した問題）

(2) 理科、社会は都立高校共通問題

*グループ作成問題の主なねらいは次の通りです。

- (1) 中学校学習指導要領に示されている基礎的・基本的な内容について、知識・理解だけでなく、これらを活用する思考力、判断力、表現力をみることに重点を置いた問題を作成する。
- (2) (1)の問題により、中高一貫教育校の高校が求める生徒を適正に選抜する。

2 推薦に基づく選抜

高校で募集する定員の約20%を調査書、集団討論・個人面接、小論文によって選抜する。

「本校の期待する生徒の姿」（次頁）を参考にして下さい。

1 都立両国高校入学者選抜について

(1) 平成31年度入試日程

① 推薦に基づく選抜

出 願	平成31年 1 月23日 (水)	午前 9 時00分～午後 3 時00分
小論文・面接	平成31年 1 月26日 (土)	指定された時間
合格発表	平成31年 2 月 1 日 (金)	午前 9 時00分

② 学力検査に基づく選抜（第一次募集）

出 願	平成31年 2 月 6 日 (水)	午前 9 時00分～午後 3 時00分
	平成31年 2 月 7 日 (木)	午前 9 時00分～正午
取 り 下 げ	平成31年 2 月13日 (水)	午前 9 時00分～午後 3 時00分
再 提 出	平成31年 2 月14日 (木)	午前 9 時00分～正午
学 力 検 査	平成31年 2 月22日 (金)	午前 8 時30分集合
合 格 発 表	平成31年 3 月 1 日 (金)	午前 9 時00分

※平成30年 9 月現在の情報です。最新の情報は本校ホームページ及び東京都教育委員会ホームページでご確認下さい。

(2) 平成31年度「本校の期待する生徒の姿」

自己PRカードを作成する際に、参考にして下さい。

本校は授業を大切に、厳しく充実した授業で個人の能力を最大限に伸ばし、高い学力を身に付けさせることを目標にしている。

また、自己を高める努力を惜しまず、自ら考え行動できるように指導している。

- 1 本校の特色をよく理解し、本校を志望する意志が強い生徒
- 2 将来の進路に対する明確な目的意識を持ち、目標に向けて努力できる生徒
- 3 学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動等に積極的に参加する生徒
- 4 出席状況が良好で、勉学意欲の高い生徒

※ 特に推薦選抜においては、上記1から4の全てに該当している生徒が望ましい。

(3) 推薦に基づく選抜

① 推薦入試の内容

推薦による定員枠は募集人数の2割程度です。調査書、集団討論・個人面接、小論文を総合して選抜します。

調査書は評定（5段階）を使用し、9教科の合計点（45点満点）を500点に換算します。

集団討論・個人面接点、小論文点については次頁を参考にして下さい。

面接は複数の面接官による15分程度（予定）の個人面接です。なお、自己PRカードは点数化せず、選抜資料として総合的に活用します。

推薦に基づく選抜の昨年度の倍率は男子1.25倍、女子2.50倍でしたが、推薦入試で合格できなくても、一般入試で合格するケースは例年少なくありません。

② 推薦入試の合格者決定方法

中学校の調査書から算出する調査書点、集団討論・個人面接点、小論文点を下記のように合計して、1000点満点で合否を判定します。

$$\text{調査書500点} + \text{集団討論・個人面接250点} + \text{小論文250点} = \text{総合成績1000点}$$

(4) 学力検査に基づく選抜（第一次募集）

① 合格者の決定方法

国語、社会、数学、理科、英語5教科の学力検査の得点と調査書の得点とを総合して合格者を決定します。なお、自己PRカードは入学手続後に提出します。

募集人員は男女別です。

また、本校では平成26年度入試から、国語、数学、英語はグループ作成問題となりましたが、理科、社会、英語のリスニングは従来通り東京都教育員会作成の問題です。

学力検査と調査書の比重は7：3です。これを分かりやすく示すと以下のようになります。

$$\text{学力検査 700点} + \text{調査書点 300点} = \text{総合成績1000点}$$

*調査書点については、学力検査を実施しない教科の評定を2倍して、学力検査を実施する教科の評定の合計点に加え、9教科の合計点を300点に換算します。（9教科の評定が全て5なら、合計65点。）

② 自校作成及びグループ作成問題の各教科受検者平均点の推移（平成26年度よりグループ作成問題）

年 度	平23年度	平24年度	平25年度	平26年度	平27年度	平28年度	平29年度	平30年度
募集クラス数	2学級	2学級	2学級	2学級	2学級	2学級	2学級	2学級
国 語	64.3	73.3	63.5	65.8	66.3	73.4	75.0	81.6
数 学	49.5	52.8	58.2	59.8	53.8	47.1	59.2	57.4
英 語	74.5	71.6	64.8	58.5	56.9	59.9	70.5	68.9

2 募集人数

昨年度の募集人数は男女とも39人でした。

	推薦に基づく選抜	学力検査に基づく選抜（一次募集）	合 計
	募集人数の2割	学力検査選抜の定員（=募集人員の8割）	
男子	8人	31人	39人
女子	8人	31人	39人

- *上記の他に転入学者枠2人（性別を問わない）を含め、募集人数は80人（40人×2クラス）となります。
- *高校から入学する生徒（2クラス）と附属中学校から進学する生徒（3クラス）とを別々のクラスに分けることなく、選択科目などに基づいて5クラス編成を行っています。

3 目指す学校像

大地にしっかりと根を張って天高くそびえる大木が、目印となって人々を導くように、強い志を持って、世界に貢献するリーダーの育成を目指します。

高1：共に学び合い、高め合う

新たな仲間と切磋琢磨し、互いに高め合う刺激的な集団を作ります。授業を大切にし、予習・復習のリズムを身に付け、高校での学びの基礎を固めます。

高2：果敢に挑む

学校を動かす中心的存在です。行事や部活動などの集団活動で、試行錯誤しながらもリーダーとしての資質を養います。自身の目標を設定し、その実現に向けて、基礎的な学力と学びの姿勢を身に付けます。

高3：夢に向かって…

自ら課題を見つけて、その解決に励み、強い気持ちで困難をも乗り越え、目標に向かって進みます。両国に集った仲間とのつながりを大切にし、夢を語り合い、不安を共有しながら、互いに自己の実現を目指します。「自律自修」の精神を誇りに、自分の可能性を信じて、新たな活躍の場へと旅立ちます。